【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【公表番号】特表2006-509073(P2006-509073A)
【公表日】平成18年3月16日(2006.3.16)
【年通号数】公開・登録公報2006-011
【出願番号】特願2004-557328(P2004-557328)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｄ　11/00　　(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　 5/00　　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　 2/01　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ　11/00
Ｂ４１Ｍ　 5/00　　Ｅ
Ｂ４１Ｊ　 3/04　１０１Ｙ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成23年3月14日(2011.3.14)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
インクジェット印刷用のインクセットであって、低染料含有量を有するインク、および高染料含有量を有する別のインクを有しており、これらの低染料含有量のインクおよび高染料含有量のインクの色が同一色であって、該色が、マゼンタ、シアン、イエローおよびブラックからなる群から選択され、該低染料含有量のインクが、空気褪色耐性、光褪色耐性および湿り色流れ耐性の少なくとも１つを有しており、前記低染料含有量が０．１～２．０ｗｔ％であり、前記高染料含有量が２．０～１０．０ｗｔ％であり、前記低染料含有量がライトマゼンタ染料含有量である場合には、該ライトマゼンタ染料含有量のインクが、多価金属配位化合物染料およびこれらの混合物から選択されたものを含み、前記低染料含有量がライトイエロー染料含有量である場合には、該ライトイエロー染料含有量のインクが、Yellow Dye 1、Yellow Dye 2およびY1189から選択されたものを含み、前記低染料含有量がライトシアン染料含有量である場合には、該ライトシアン染料含有量のインクが、Cyan Dye 1から選択されたものを含む、インクジェット印刷用インクセット。
【請求項２】
前記ライトマゼンタ染料含有量のインクが、Magenta Dye 1、Magenta Dye 2、Magenta Dye 3、Magenta Dye 6、Magenta Dye 8、Magenta Dye 13およびReactive Red 23から選択されたものを含む、請求項１に記載のインクジェット印刷用インクセット。
【請求項３】
前記高染料含有量の染料が、前記低染料含有量の染料と同じである、請求項１に記載のインクジェット印刷用インクセット。
【請求項４】
前記高染料含有量のインクの少なくとも１つの染料が、前記低染料含有量のインクに使用される染料とは異なる、請求項１に記載のインクジェット印刷用インクセット。
【請求項５】
前記高染料含有量の染料の全てが、前記低染料含有量のものとは異なる、請求項１に記

載のインクジェット印刷用インクセット。
【請求項６】
インクジェット印刷方法であって、該方法がインクジェットによりインクを射出するステップを含み、該インクが、低染料含有量を有するインクおよび高染料含有量を有する別のインクを有しており、これらの低染料含有量のインクおよび高染料含有量のインクの色が同一色であって、該色がマゼンタ、シアン、イエローおよびブラックからなる群から選択され、前記低染料含有量のインクが空気褪色耐性、光褪色耐性および湿り色流れ耐性の少なくとも１つを有しており、前記低染料含有量が０．１～２．０ｗｔ％であり、前記高染料含有量が２．０～１０．０ｗｔ％であり、前記低染料含有量がライトマゼンタ染料含有量である場合には、該ライトマゼンタ染料含有量のインクが、多価金属配位化合物染料およびこれらの混合物から選択されたものを含み、前記低染料含有量がライトイエロー染料含有量である場合には、該ライトイエロー染料含有量のインクが、Yellow Dye 1、Yellow Dye 2およびY1189から選択されたものを含み、前記低染料含有量がライトシアン染料含有量である場合には、該ライトシアン染料含有量のインクが、Cyan Dye 1から選択されたものを含む、インクジェット印刷方法。
【請求項７】
前記ライトマゼンタ染料含有量のインクが、Magenta Dye 1、Magenta Dye 2、Magenta Dye 3、Magenta Dye 6、Magenta Dye 8およびMagenta Dye 13から選択されたものを含む、請求項１に記載のインクジェット印刷用インクセット。
【請求項８】
前記高染料含有量の染料が、前記低染料含有量の染料と同じである、請求項６に記載のインクジェット印刷方法。
【請求項９】
前記高染料含有量のインクの少なくとも１つの染料が、前記低染料含有量のインクに使用される染料とは異なる、請求項６に記載のインクジェット印刷方法。
【請求項１０】
前記高染料含有量の染料の全てが、前記低染料含有量のものとは異なる、請求項１に記載のインクジェット印刷用インクセット。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１２】
マルチダイロードの構成においてライトインクを使用することは、それによって低ダイロードの使用（低い染料含有量のインクの使用）が可能となるので望ましいことである。ここで、ライトダイロード（低染料含有量）とは０．１～２．０ｗｔ％であり、ダークダイロード（高染料含有量）は２．０～１０．０ｗｔ％である。しかし、低ダイロードが写真プリント中のドットの鮮明度とグレインを減じて、写真品質を高めるとしても、これらの低ダイロードは特に空気褪色しやすい。出願人は、十分な空気褪色耐性を有するライトダイロードの染料とダークダイロードの染料との組合せを使って優れた写真画像品質（ＩＱ）および褪色に対して耐性のある画像を得る手段を見出した。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４９】
２３種の異なるマゼンタ染料を以下のように光褪色について試験した。各マゼンタ染料を４種類の異なるインクジェット印刷可能な媒体試料、媒体１（膨潤性）、媒体２（多孔

質、Ａｌ２Ｏ３被覆）、媒体４（多孔質、ＳｉＯ２被覆、媒体３より異なる孔）および媒体５（普通紙、セルロースベース）へ塗布した。ガラス下での１９年の光褪色過程のシミュレーションによって、不良状態に至る年数を評価した。表３においては、染料を、媒体４（多孔質、ＳｉＯ２被覆）上での光褪色耐性の良いものから順に表す。媒体１（膨潤性）上の染料は、他の媒体上の同じ染料に比べてより耐光性が大きいことが見出された。含金属染料およびγ酸の耐光性が最も大きかった。これと比べて、キサンテン、Ｈ酸およびアントラピリドンは耐光性でなかった。γ酸染料は、媒体２（多孔質、Ａｌ２Ｏ３被覆）より媒体４（多孔質、ＳｉＯ２被覆）上で、より大きな耐光性を示すことが見出されたが、これは、おそらく、Ａｌ２Ｏ３被覆層の異なる孔サイズによるものであろう。この実施例では、上述の「発明を実施するための最良の形態」において特に言及した染料の他に、そのほとんどを実施例１および２で使用した、Ｈ酸、γ酸、キサンテン、多価金属配位染料およびアントラピリドンの類に属するその他の同類の染料も使用される。これらの染料には、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ １（ニッケル、ピリジルアゾナフトール）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ ２（ニッケル、ピリジルアゾナフトール）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ ３（銅、ピリジルアゾナフトール）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ ４（アゾ、Ｈ酸）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ ５（アゾ、γ酸）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ ６（銅、ピリジルアゾナフトール）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ ７（アゾ、Ｈ酸）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ ８（Ｎｉ、ナフトールアゾイミダゾール）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ ９（アゾ、γ酸）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ １０（アゾ、Ｈ酸）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ １１（アゾ、Ｈ酸）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ １２（アゾ、γ酸）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ １３（ニッケル、ピリジルアゾキノリン）、Ｍａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ １４（アントラピリドン）、およびＭａｇｅｎｔａ Ｄｙｅ １５（アゾ）がある。

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５６】
実施例６の８つのイエロー染料を以下のように光褪色について試験した。各イエロー染料をインクジェット印刷可能な媒体、媒体１（膨潤性）上にむき出しおよびガラス下の両方の条件で塗布した。不良に至る年数をガラス下での２１年の光褪色過程のシミュレーションを用いて評価した。Ｙｅｌｌｏｗ ｄｙｅ １、Ｙ１１８９、Ｙｅｌｌｏｗ ｄｙｅ ２およびＹｅｌｌｏｗ ｄｙｅ ３の光耐性は等しく、Ｙｅｌｌｏｗ ｄｙｅ ４、Ｙｅｌｌｏｗ ｄｙｅ ５、Ｙｅｌｌｏｗ ｄｙｅ ６およびＹｅｌｌｏｗ ｄｙｅ ７より優れていることが分かった。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５７】

【表６】

表７			
		光褪色の速さ（不良状態に至る日数（２１年））	
染料	構造	媒体１、むき出し	媒体１、ガラス
Yellow Dye 1	アゾ	８７	１５８
Y 1189	アゾ	４９	９６
Yellow Dye 2	ジアゾ	３８	１２４
Yellow Dye 3	アゾ	３３	７２
Yellow Dye 4	アゾ	２７	５０
Yellow Dye 5	ジアゾ	２６	５３
Yellow Dye 6	アゾ	２５	４６
Yellow Dye 7	アゾ	２２	４９

【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６０】
実施例８の５つのシアン染料を以下のように光褪色についてテストした。各シアン染料をインクジェット印刷可能媒体、媒体２（多孔質、Ａｌ２Ｏ３被覆）、媒体４（多孔質、ＳｉＯ２被覆）、媒体５（セルロース普通紙）、および媒体１（膨潤性）をむき出しでおよびガラス下で塗布した。不良に至る年数をガラス下での２０年の光褪色過程のシュミレーションを用いて評価した。実施例８におけるように、上述の「発明を実施するための最良の形態」において特に言及した４８５／４および４８５染料の他に、その全てが銅フタロシアニンシアン染料のカテゴリに帰属するその他の同類の染料も使用される。それらには、Ｃｙａｎ Ｄｙｅ １（銅フタロシアニン）、Ｃｙａｎ Ｄｙｅ ２（銅フタロシアニン）、およびＣｙａｎ Ｄｙｅ ３（銅フタロシアニン）がある。
【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６１】
【表８】

表９

光褪色の速さ（不良状態に至る年数（２０年、OD_0＝０．５））								
	媒体２（多孔質、Al_2O_3被覆）		媒体４（多孔質、SiO_2被覆）		媒体５（セルロース普通紙）		媒体１（膨潤性）	
染料	むき出し	ガラス	むき出し	ガラス	むき出し	ガラス	むき出し	ガラス
Cyan Dye 1	５０＋	５０＋	５０＋	５０＋	５０＋	５０＋	５０＋	５０＋
Cyan Dye 2	２２	５０＋	１９	５０＋	５０＋	５０＋	５０＋	５０＋
485/4	１２	５０＋	１９	５０＋	５０＋	５０＋	５０＋	５０＋
Cyan Dye 3	５	３４	１２	５０＋	４９	５０＋	４３	５０＋
485	６	３６	１３	５０＋	４５	５０＋	３３	５０＋

【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６４】
実施例１０の銅アゾブラック染料、Ｂｌａｃｋ Ｄｙｅ １を以下のように光褪色について試験した。この染料を、インクジェット印刷可能媒体、媒体２（多孔質、Ａｌ２Ｏ３被覆）、媒体４（多孔質、ＳｉＯ２被覆）、媒体５（セルロース普通紙）および媒体１（膨潤性）へ、むきだしおよびガラス下での条件の両方でそれぞれ塗布した。不良に至る年数を、ガラス下で２０年の光褪色過程のシミュレーションを用いて評価した。
【誤訳訂正９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００６５】
【表１０】

表１１

光褪色の速さ（不良までの年数（２０年、OD_0＝０．５））

	媒体２（多孔質、Al_2O_3被覆）		媒体４（多孔質、SiO_2被覆）		媒体５（普通紙、セルロースベース）		媒体１（膨潤性媒体）	
染料	むき出し	ガラス	むき出し	ガラス	むき出し	ガラス	むき出し	ガラス
Black Dye 1	４	２７	８	ｎｆ	５０$^+$	５０$^+$	５０$^+$	５０$^+$